

藤田 智 議員



問 ひじり野地域に役場支所はいつになれば開設できるのか。

答 ふれあい交流館の増築がベストム店内かの検討を進め27年度中に提示します。

質問 役場支所について改めて伺います。町長は、この問題に対しては、いままで私も含めて何度も質問されていますが、その答弁は日時も含めて明快に答えて頂いていません。支所の開設を否定されないのであれば、そろそろはつきりと答弁して下さい。

役場内部でこの支所問題で具体的に実行計画を話し合っていますか。

町長答弁 支所の問題は町内会、団地振興会等からの要望が有り、議員からも提案を頂いているところですが、具体的なものはいつかとの質問ですが人員、財政などの面からどのように設置できるか検討中です。現状のふれあい交流館で行っている諸証明に収納業務を加えるなど業務拡充を検討しています。現事務室となっている、ふれあい交流館では困難と考えていて、増築やベストム店舗内も含めて検討を加えている。㈱西條とも使用料等の照会もしているところですが、今後、増築の経費、ベストムの使用料など比較検討資料を作成し27年度中にと考えています。

再質問 27年度中に議会や地域に何を提示するのですか。ベストムのスペースはかなりの広さで、本当にそこが場所として適しているのか、又、費用対効果はどうなのか、土日祭日も受付業務をやるならいざ知らず、私はふれあい交流館を含めた増築を考えて貰いたいと考えます。わざわざ商業施設を支所に選ぶべきでないと思います。人員、財政の面からも

考えて適さないと考えますが。

町長再答弁 支所の議論はかなり以前からあり、その中で選択肢を考えておりまして、増築が若しくはベストムかと経緯になっています。新しい商業施設のオープンに伴う既存の部分のリニューアルの検討材料が上がってきたところです。今年度中に役場内でプロジェクト的なものを立ち上げたいと思っています。費用や、やる事務の精査をしたいと思っています。

ベストムとの交渉も、スペースの問題等使い方等を26年度は庁舎内の議論を経てまとまり次第、議員の皆さんにも提示させて頂きます。

いづれにしても現在のふれあい交流館という議論もあると思いますので今年度の調査をして、来年度に向けた議論を深めていけるよう体制をとりたいと思いますので、ご理解下さい。

北海道電力の

再値上げの対応は

質問 昨年につづき家庭、大口利用者に対する大幅な電気料の値上げが実施されました。道内179市町村の内、21自治体が「北電」離れと言っている「新電力」に契約を切替えています。当町も厳しい財政を考えれば契約の切替えが必要になるがどのように考えていますか。このまま「北電」のままで行くとすればどの位の負担増になりますか。町政、町内の各施設、事業等様々ところに影響が出ると思います。これらに支障の出ないよう早急な切替えを実行して頂きたいと思えます。

町長答弁 議員の指摘通り、「北電」の再値上げによる各公共施設に係る電気料金の負担増は避けられないと考えています。これら多くの施設が3月31日契約満了となるので値上げ前の料金で、4月1日からは値上げされた料金になるので年間約六百五十万円の負担増になると試算しています。議員の提案通り、「新電力」への切替えは負担軽減の方法のひとつであるので、現在「新電力」会社と協議中です。12月中旬に接続供給申し込みを行い、手続きを経て、年間百万円程度の削減ができると試算しています。今後も各公共施設での節電の取り組みを継続し、国の制度を活用しながら、公共施設、道路照明、防犯灯などをLED照明にするなど、省エネに取り組みたいと考えています。

再質問 「北電」離れは、札幌市、旭川市とかは「新電力」に切替えて対応は進んでいるが、当町は来年にならないと切替えができないのですか。契約の関係からですか。

町長再答弁 今、手続きの関係でそのような形で進んでいるだけで、できるだけ早く切替え、経費の削減に取り組みを進めていきたいと考えています。

質問・答弁は要約されています。議会だよりでは質問の内容を要約して載せております。議会事務局とふれあい交流館に会議録が置いてありますので、どっぞご利用ください。

質問全文については、スペースの都合から載せることができませんが、詳しく知りたい方は、東神楽町